HAGIWARA Solutions

リトマス USB 対応
Local Updater
マニュアル

この度はリトマス USB(型番：HUD-SVDTxx)ご購入いただき誠にありがとうございます。このマニュアルではリトマス USB 対応 Local Updater(以下、本ソフトウェア)の導入から運用方法までを説明しています。本ソフトウェアを正しくご利用いただくために、使用開始前に、必ずこのマニュアルを必ずお読みください。

1 ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「お客様」とします）とハギワラソリューションズ株式会社（以下「弊社」とします）との間で弊社がお客様へ提供するソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）の使用権許諾に関して次のように条件を定めます。

弊社は、お客様に対して、以下の条件に従って許諾ソフトウェアの使用を許諾いたします。お客様は、本契約書の内容をしっかりとお読みになり、本契約書の内容に同意できる場合に限り、お客様の責任で許諾ソフトウェアを使用してください。許諾ソフトウェアを使用することによって、お客様は本契約の各条項に同意したものとみなされます。本契約の各条項に同意されない場合、弊社はお客様に対し、許諾ソフトウェアのご使用を許諾できません。

第１条（総則）

許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従い弊社からお客様に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は弊社に帰属し、お客様に移転いたしません。

第２条（使用権）

1. 弊社は、許諾ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。
2. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、お客様が取得または購入された許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器上において、許諾ソフトウェアをお客様の機器等に対して使用する権利をいいます。

3. お客様は、許諾ソフトウェアの全部又は一部を複製、複写、並びに、これに対する修正、追加等の改変をすることができません。

第３条（権利の制限）

1. お客様は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、譲渡、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを用いて、弊社又は第三者の著作権等の権利を侵害する行為を行ってはならないものとします。
3. お客様は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. お客様は、本契約に基づいて、許諾ソフトウェアがインストールされている電子機器と一体としてのみお客様の許諾ソフトウェアに関する権利の全てを、譲受人が本契約の条項に同意することを条件に譲渡することができます。但しその場合、お客様は許諾ソフトウェアの複製物を保有することはできず、許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、媒体、電子文書及び本契約書を含みます）を譲渡しなければなりません。

第４条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、弊社または、本契約に基づきお客様に対して使用許諾を行うための権利を弊社に認めた原権利者（以下原権利者とします）に帰属するものとし、お客様は許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第５条（責任の範囲）

1. 弊社及び原権利者は、第６条２項に定義するアップデートデータが正常にインストールできることを保証いたしません。また、弊社及び原権利者は、当該アップデートデータのインストールによってお客様に損害が発生しないことを保証いたしません。
2. 弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアにエラー、バグ等の不具合がないこと、若しくは許諾ソフトウェアが中断なく稼動すること又は許諾ソフトウェアの使用がお客様及び第三者に損害を与えないことを保証しません。また、弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアが第三者の知的財産権を侵害していないことを保証いたしません。
3. 許諾ソフトウェアの稼動が依存する、許諾ソフトウェア以外の製品、ソフトウェア又はネットワークサービス（第三者が提供する場合に限られず、弊社又は原権利者が提供する場合も含みます）は、当該ソフトウェア又はネットワークサービスの提供者の判断で中止又は中断する場合があります。弊社及び原権利者は、許諾ソフトウェアの稼動が依存するこれらの製品、ソフトウェア又はネットワークサービスが中断なく正常に作動すること及び将来に亘って正常に稼動することを保証いたしません。
4. お客様に対する弊社及び原権利者の損害賠償責任は、当該損害が弊社又は原権利者の故意又は重過失による場合を除きいかなる場合にも、お客様に直接且つ現実に生じた通常の損害に限定され且つお客様が証明することのできる許諾ソフトウェアの購入代金を上限とします。
5. 弊社又は原権利者は、債務不履行及び不法行為等の理由の如何にかかわらず、如何なる場合においても、お客様に生じた逸失利益、結果的損害、間接損害、若しくは、データ消失及び破損における損害については、一切賠償する責を負わないものとする。
6. 弊社は、弊社ウェブページにて定めるお問合わせ窓口（許諾ソフトウェア購入ページからリンクしてご確認ください。）に限り、お客様が弊社から使用許諾を受けた許諾ソフトウェアに関する技術的サポートを提供します。但し、弊社は、お客様の同意を得ることなく、当該窓口の受付時間及び当該サポートの提供の有無について随時変更することができ

るものとします。なお、弊社は、お客様との間で、別途契約を締結しないかぎり、当該サポートをお客様に提供及び継続する義務を一切負うことはありません。

第6条（著作権保護及び自動アップデート）

1. お客様は、許諾ソフトウェアの使用に際し、日本国内外の著作権及びその他知的財産権に関する諸法令及び諸条約に従うものとします。
2. お客様は、弊社又は弊社の指定する第三者がウェブ上に、許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜にアップデートデータ（以下「アップデートデータ」とします）を公開する場合は、アップデートデータ公開後 90 日以内に許諾ソフトウェアをアップデートしなければなりません。また、お客様は、アップデートデータ公開後 90 日を経過した場合は、旧許諾ソフトウェアを、アップデートをする目的以外で使用することができません。お客様は、(ⅰ)当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更又は削除されることがあること、及び(ⅱ)アップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約が適用されることに同意するものとします。

第7条（契約の解約）

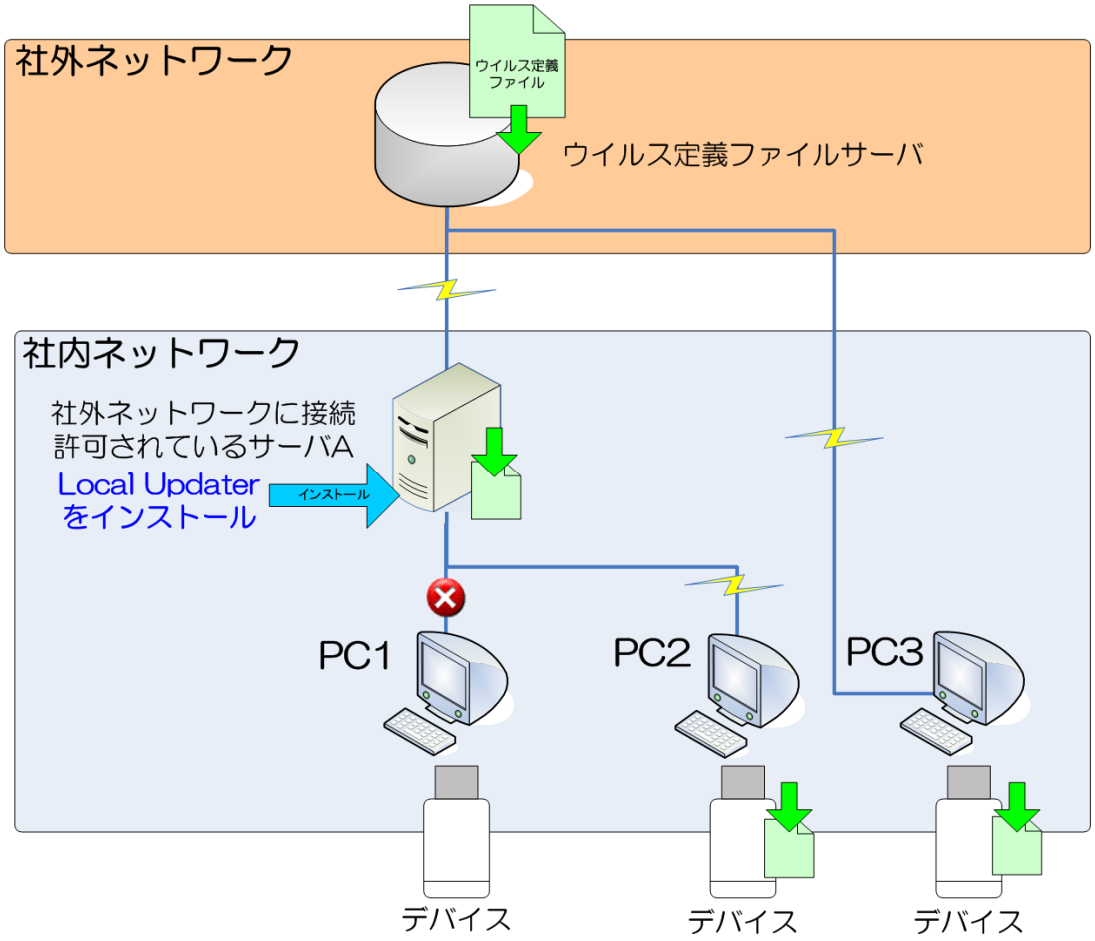
1. 弊社は、お客様が本契約に定める条項に違反した場合、直ちに本契約を解約することができるものとします。
2. 前項の規定により本契約が終了した場合、お客様は契約の終了した日から 2週間以内に許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、弊社に対して返還するものとします。お客様が許諾ソフトウェアを廃棄した場合、直ちにその旨を証明する文書を弊社に差し入れるものとします。
3. 本条 1 項の規定により本契約が終了した場合といえども、第 4 条、第 5 条、第 7 条第 2 項及び第 3 項並びに第 8 条第 1 項及び第 3 項乃至第 5 項の規定は有効に存続するものとします。

第8条（その他）

1. 本契約は、日本国法に準拠するものとします。
2. お客様は、許諾ソフトウェアを国外に持ち出して使用する場合、適用ある条例、法律、輸出管理規制、命令に従うものとします。
3. 本契約に関連する一切の紛争については、弊社本店所在地の地方裁判所または簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。
4. 本契約の一部条項が法令によって無効となった場合でも、当該条項は法令で有効と認められる範囲で依然として有効に存続するものとします。
5. 本契約に定めなき事項又は本契約の解釈に疑義を生じた場合は、お客様及び弊社は誠意をもって協議し、解決するものとします。

2 Local Updater について

本ソフトウェアは、社外ネットワークに接続されている社内サーバへウイルス定義ファイルをダウンロードし、社外ネットワークへ接続許可されていない社内 PC へ接続したリトマス USB へ定義ファイルを配布するためのサーバソフトウェアです。



PC	PC 状態	Local Updater の対応可否
PC1	社外ネットワークに接続許可されていないローカルPC。 サーバ A とネットワーク接続されていない。	対応できません。 理由：サーバ A にネットワーク接続してないため
PC2	社外ネットワークに接続許可されていないローカルPC。 サーバAとネットワーク接続されている。	対応できます
PC3	外部ネットワークに接続されているPC。	対応できますが、社外ネットワークに接続されているため、直接社外ウイルス定義ファイルサーバからダウンロードを行います。

※本ソフトウェアをインストールしたサーバとローカル PC がネットワーク接続している必要があります。
※本ソフトウェアをインストールしたサーバとローカル PC がネットワーク接続してない場合、ローカル PC に接続した対象デバイスへ定義ファイルを配布することはできません。

製品仕様

動作環境	USB インターフェイス(USB2.0 必須)を搭載した DOS/V 機器 Pentium4 1.4GB 以上の CPU 物理空きメモリ容量 1GByte 以上 ハードディスク空き容量 2GB 以上
対応 OS*!	Windows Server 2003 with SP2 Windows Server 2003 R2 with SP2 Windows Server 2008 with SP2 Windows Server 2008 R2 ※日本語 OS に限ります
対応ユーザアカウント	コンピュータの管理者（Administrator）※制限ユーザには対応しておりません
対象デバイス	リトマス USB(型番：HUD-SVDTxx)

*1　64bit OS の対応について
本製品のソフトウェアは 32bit アプリケーションです。64bitOS 上では「WOW64」機能を使用し、32bit 互換モードで動作します。
64bitOS で 32bit アプリを動作させても自動的に「WOW64」機能を使用するため 、特別な作業は必要ありません。
※WOW64 を無効にしている 64bitOS では、本製品のソフトウェアは動作しません。

3　セットアップから運用までの流れ

＜セットアップ＞

[管理者] サーバ PC へ Local Updater のインストール	Local Updater をご使用のサーバ PC へインストールを行います

[管理者またはユーザ] リトマス USB の設定画面からサーバ PC 情報をデバイスへ設定する	リトマス USB の設定画面からサーバ PC 情報をデバイスへ設定する

＜運用＞

[ユーザ] デバイスを運用する	デバイスを運用する ※ユーザ様が特に特殊な処理を行う必要はありません。

[サーバ(管理者)] ウイルス定義ファイルをダウンロード	Local Updater が指定時刻にサーバへウイルス定義ファイルをダウンロードします。

4 ご使用方法

本章では、本ソフトウェアの使用方法などを説明しております。

Local Updater のインストール

リトマス USB のメイン画面の「ツール」から「設定」を選択して頂き、「定義ファイルダウンロード先設定」の欄に「LocalUpdater セットアップ」というボタンをクリックしてください。インストーラー[setup.exe]があるフォルダを開きます。インストーラーを実行し指示に従ってインストールしてください。

ご注意!	Local Updater をインストールするフルパスに日本語が入っている場合、Local Updater は正常に動作しません。必ず日本語が含まれない場所へ保存をしてください。

Local Updater 設定/設定の流れ

Local Updater 使用するに辺り以下の設定を行う必要があります。

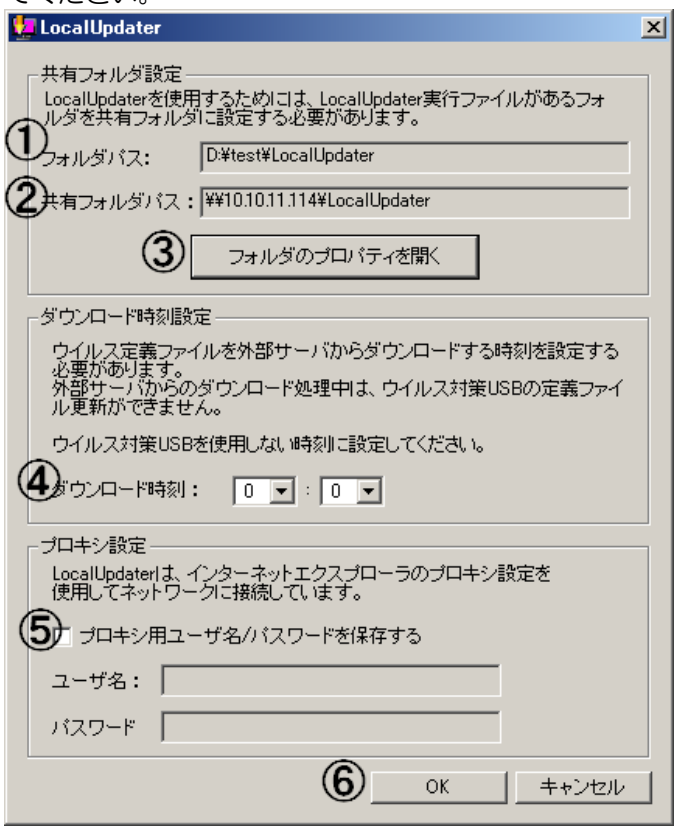
・共有フォルダの設定(必須)
・ウイルス定義ファイルをダウンロードする時刻の設定(必須)
・プロキシ設定(オプション)

Local Updater 設定の流れ

共有フォルダ名の設定	ローカル PC に接続されたリトマス USB へウイルス定義ファイルを配布するためには本ソフトウェアがインストールされたフォルダを共有してください。
時刻の設定	ウイルス定義ファイルを外部サーバからダウンロードする時刻を設定してください。
プロキシの設定	プロキシサーバを使用する場合、ユーザ名/パスワードを設定してください。
設定完了	[OK]ボタンを押して、設定完了してください。

Local Updater 設定方法

Local Updater 設定は LocalUpdater.exe を実行し、タスクトレー内のアイコン のメニュー内[詳細設定]を選択してください。



No	項目	内容
①	フォルダパス	ローカルの共有するフォルダパスを表示する欄です。 このフォルダを共有する必要があります。
②	共有フォルダパス	共有するフォルダパスを表示する欄です。 この共有フォルダパスをリトマス USB の設定画面からデバイスへ書き込む必要があります。
③	フォルダのプロパティを開く	フォルダパスの欄のフォルダのプロパティを開きます。 フォルダの共有及び、使用するユーザのアクセス権を設定してください。
④	ダウンロード時刻	ウイルス定義ファイルを外部サーバからダウンロードする時刻を設定する項目です。 ※　ウイルス定義ファイルは外部サーバに１日に約１回程度アップデートされます。 外部サーバからダウンロード処理中は、リトマス USB の定義ファイル更新ができません。リトマス USB を使用しない時刻に設定してください。
⑤	プロキシ用ユーザ名/パスワード	プロキシサーバへ入力するユーザ名/パスワードを設定する項目です。 ※プロキシサーバを使用して無い場合、本項目を設定する必要はありません。 ※プロキシサーバの設定はサーバのインターネットエクスプローラの設定を使用します。
⑥	OK/キャンセル	ダウンロード時刻とプロキシを設定する場合[OK ボタン]を押してください。

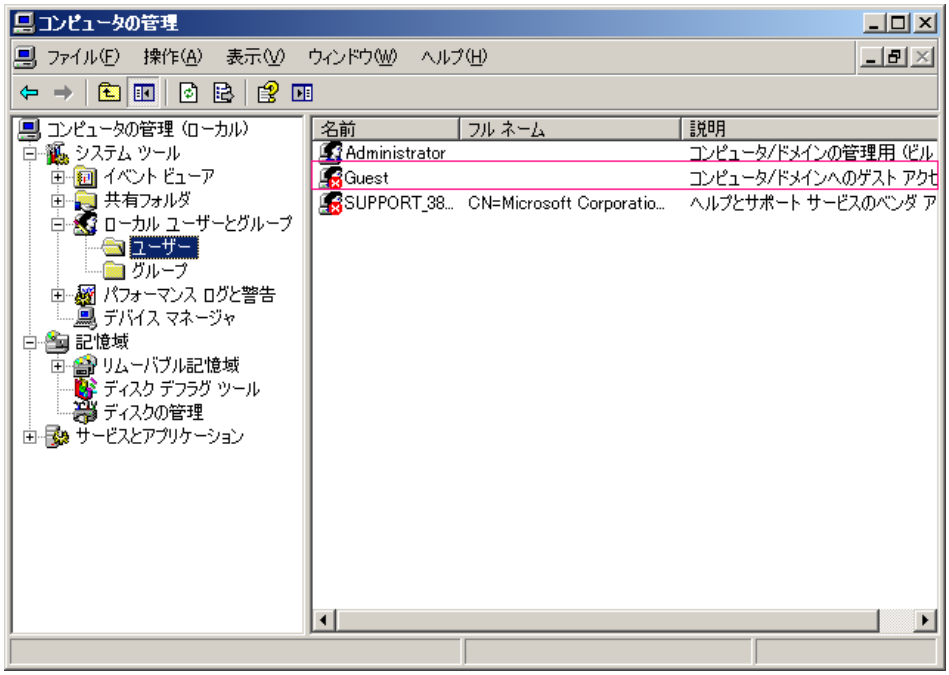
フォルダの共有例 Windows Server 2003 R2 用

■ゲストアカウントを有効設定

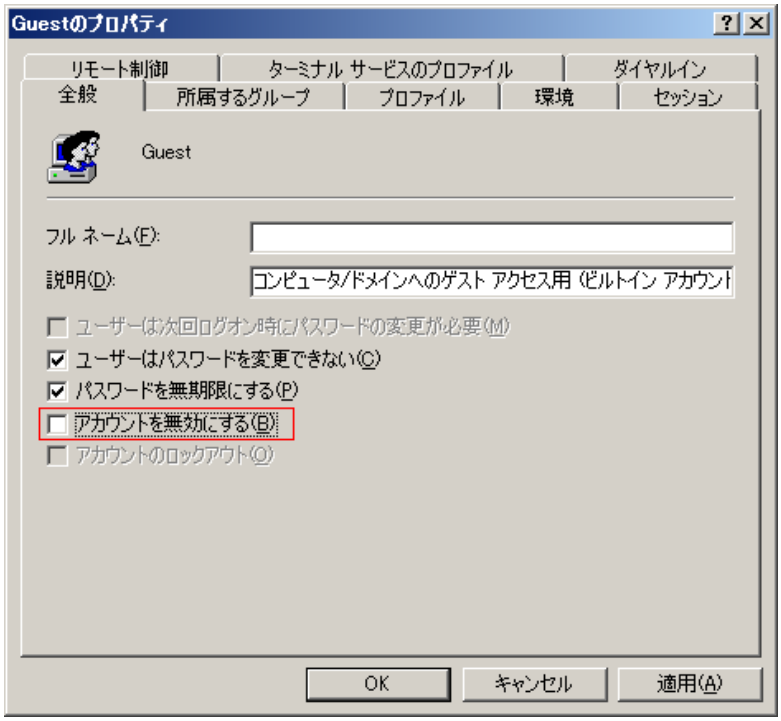
1：画面上の［マイコンピュータ］を右クリックして、［管理］を選択し［コンピュータの管理］ダイアログボックスを表示します。

2：［システムツール］の中の［ローカルユーザとグループ］をダブルクリックして、その中の［ユーザ］フォルダをクリックします。

3：[Guest］ユーザをダブルクリックします。

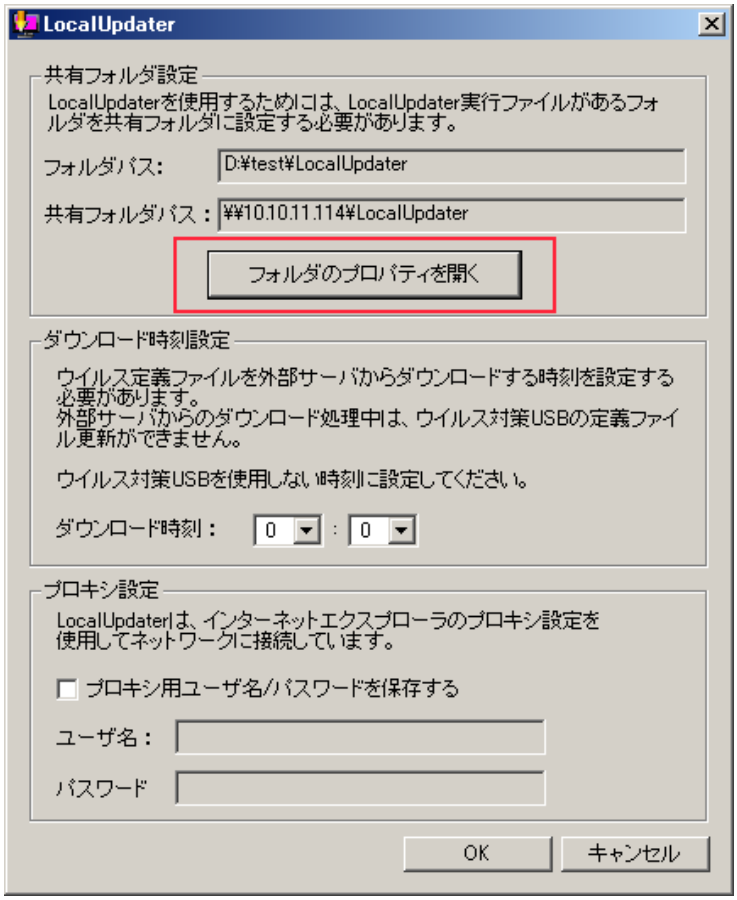


4:［アカウントを無効にする］のチェックマークを外します。

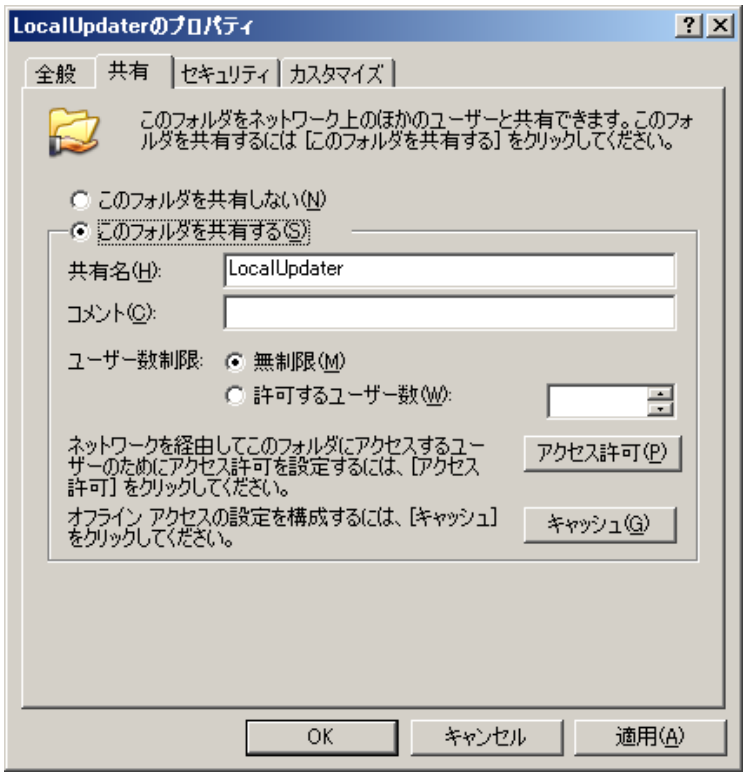


［OK］をクリックして［Guest のプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

5：Local Updater の［フォルダのプロパティを開く］ボタンを押します。

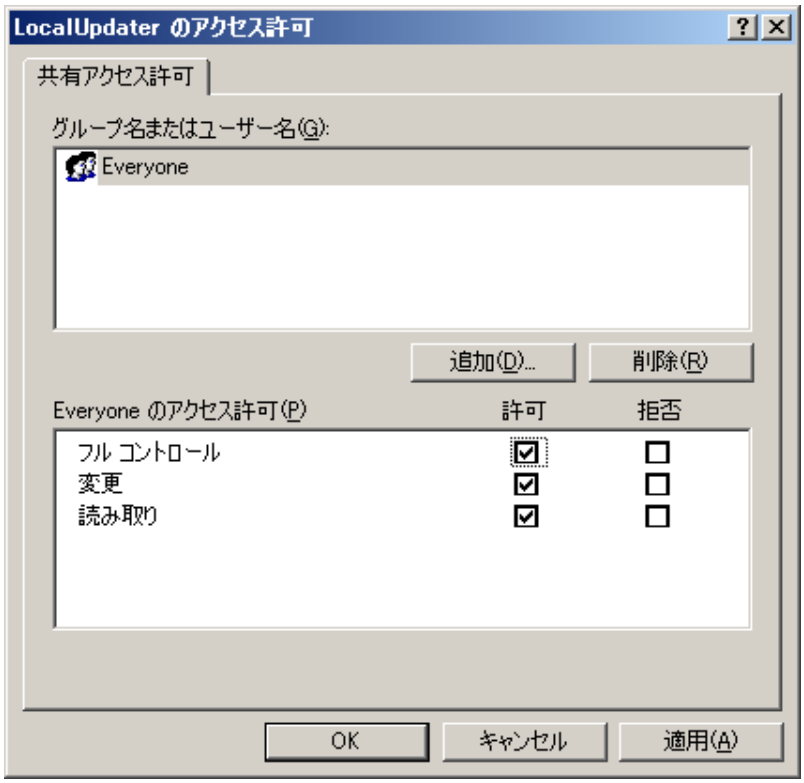


6：[共有]ページを開きます。



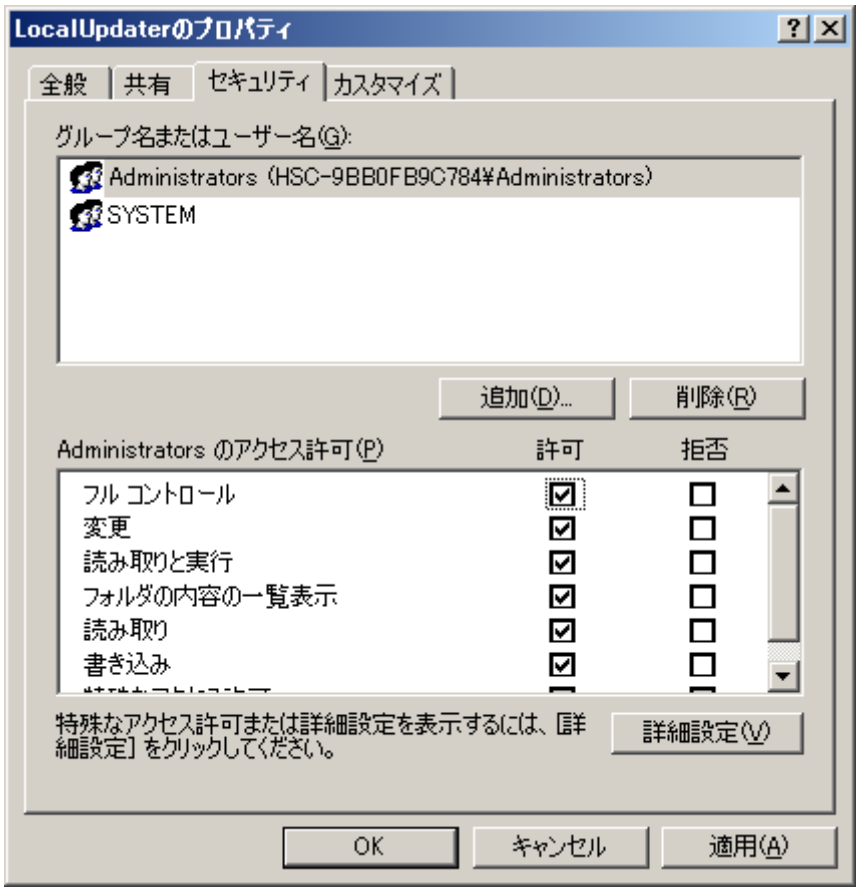
［共有］ページで［アクセス許可］ボタンをクリックし、［<フォルダ名>のアクセス許可］ダイアログボックスを表示します。

7：Everyone に対して、フル コントロールにチェックをつけます。[OK]ボタンを押して、反映させます。

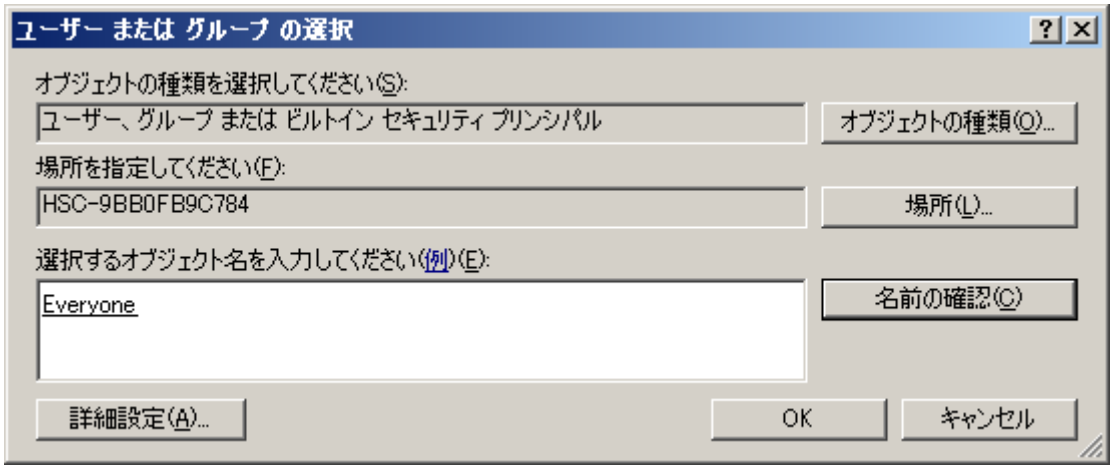


セキュリティ設定

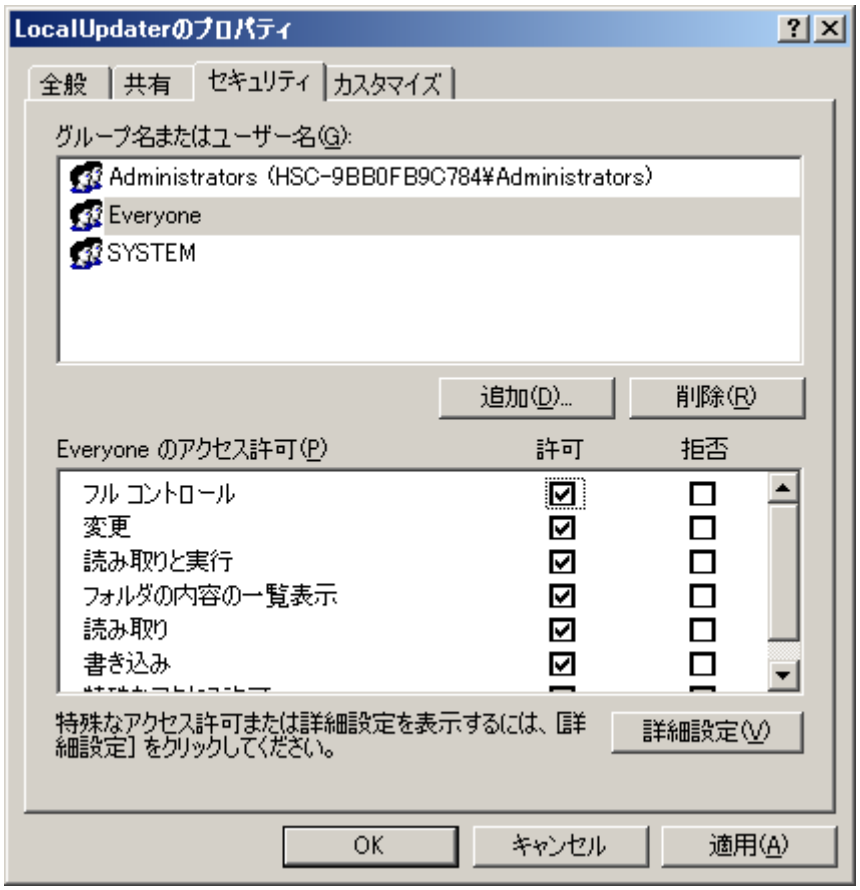
1：セキュリティタブを開き、[追加] をクリックし、[ユーザまたはグループの選択] ダイアログボックスを表示します。



2：[選択するオブジェクト名を入力してください]に、「everyone」と入力し、OK を押して[ユーザまたはグループの選択]ダイアログボックスを閉じます。



3：[セキュリティ]ページで、[グループ名またはユーザ名]から[Everyone]を選択し、[許可]の[フルコントロール]にチェックマークを付けます。



フォルダの共有例 Windows Server 2008 用

PCのフォルダ機能の設定

1：コントロールパネルから、ネットワークと共有センターを選択するとネットワークと共有センターの画面が表示されます。

※ネットワークの場所がパブリックになっている場合は、カスタマイズをクリックしプライベートに変更します。

「共有と探索」の中にある「ファイル共有」の有効/無効を確認し、無効となっている場合は、右側の下向き矢印マークをクリックします。

※有効となっている場合はそのままで構いません。

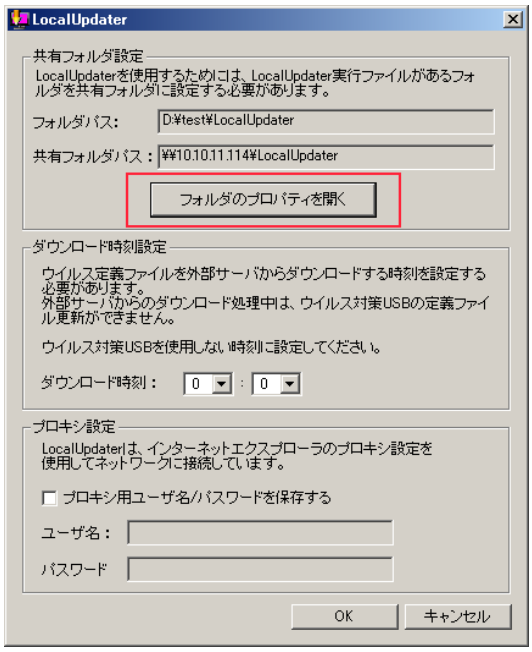
※ネットワークの場所がパブリックになっている場合は、プライベートに変更してから操作を行ってください。

ネットワーク探索の項目を、ネットワーク探索を有効にする(U) にします。

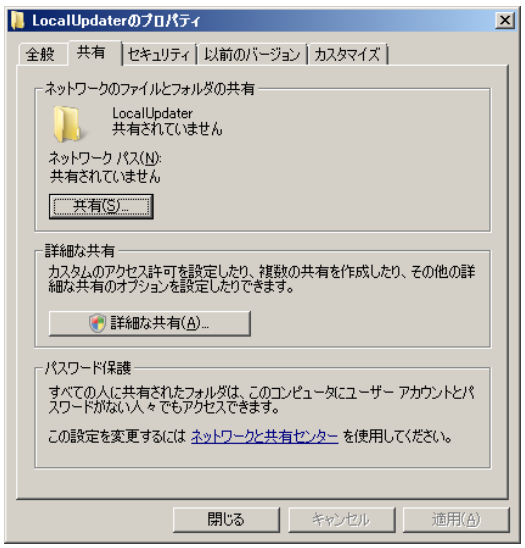
ファイル共有の項目を、ファイル共有を有効にする(S) にします。

パスワード保護共有の項目を、パスワード保護の共有を無効にする(A) にします。

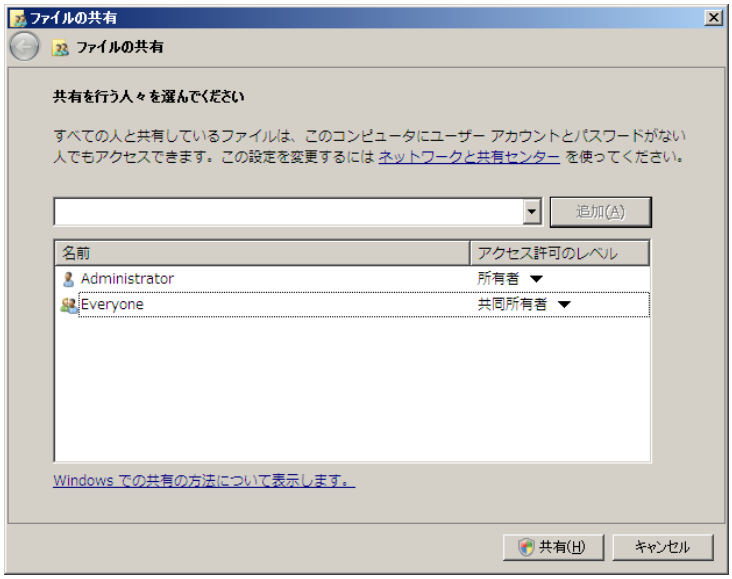
2：Local Updater の［フォルダのプロパティを開く］ボタンを押します。



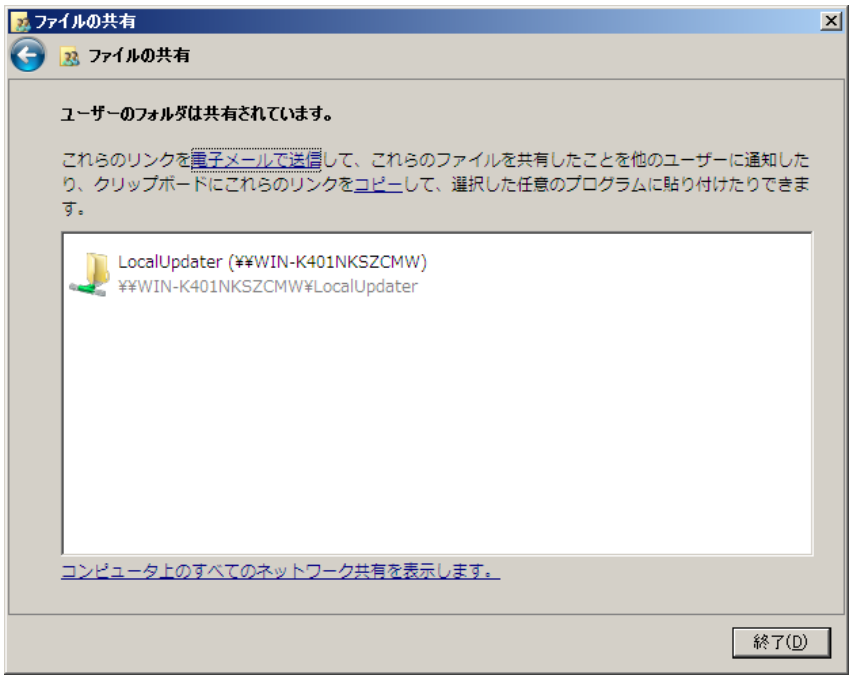
フォルダのプロパティ画面が開きます。[共有]ボタンをクリックします。



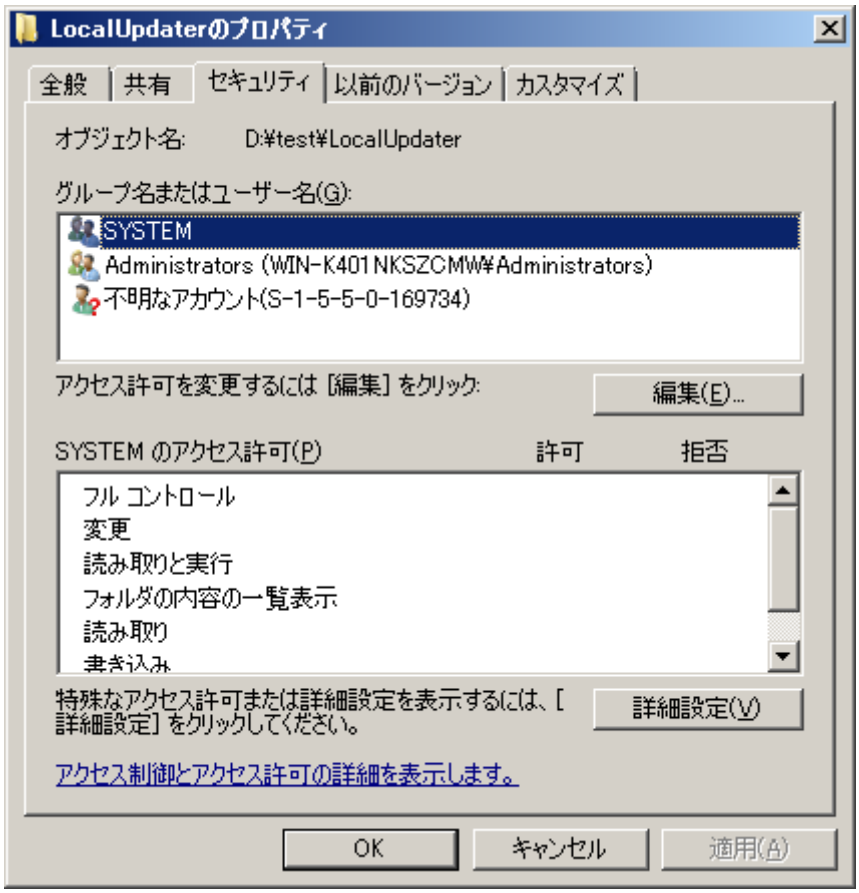
3：共有画面が開いたら、Everyone を追加します。



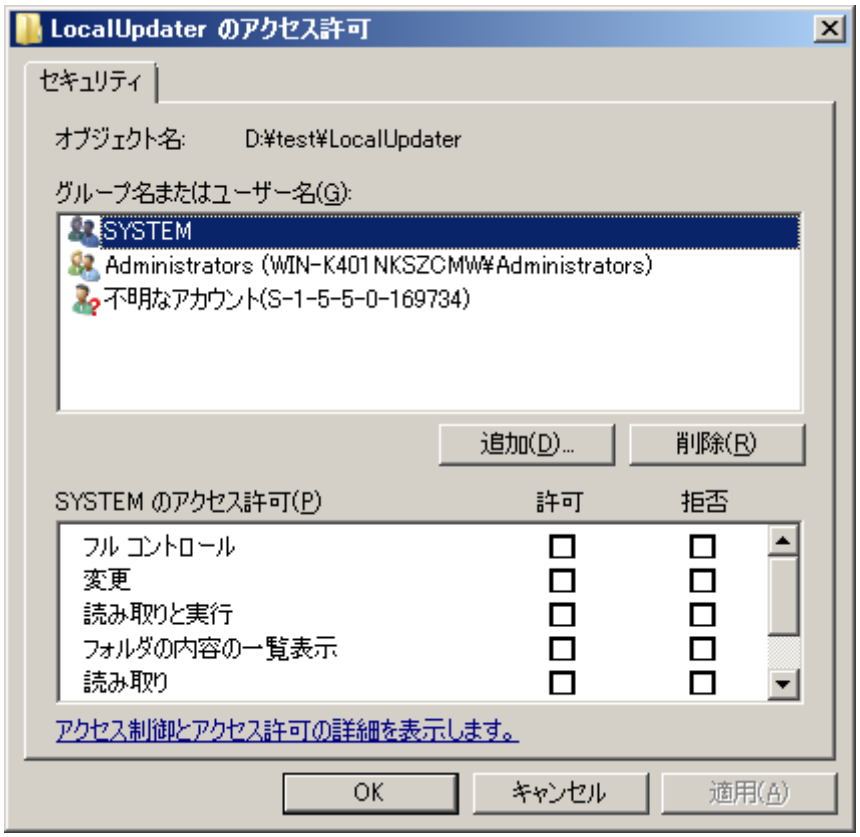
フォルダが共有されます。



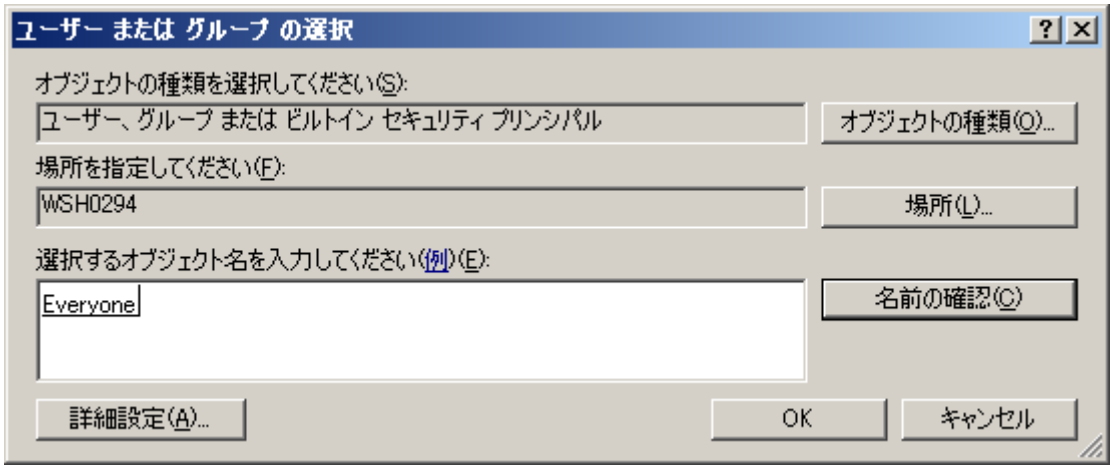
続いてセキュリティ設定を行います
4:セキュリティタブを開き、［追加］をクリックし、［ユーザまたはグループの選択］ダイアログボックスを表示します。



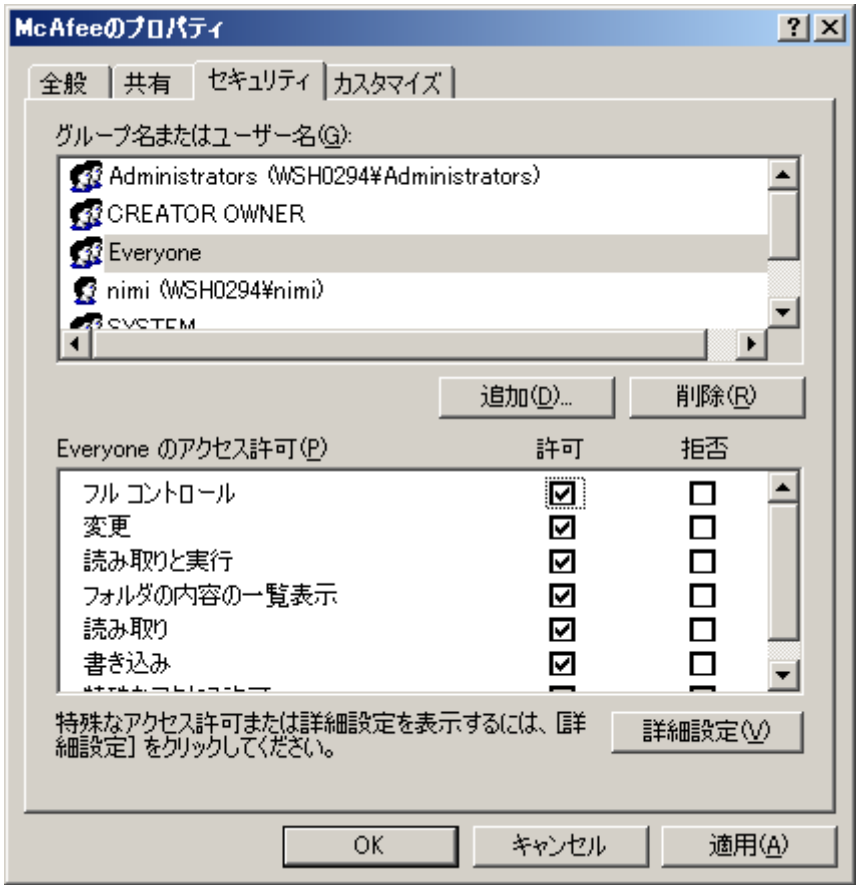
5:[編集]ボタンを押し、アクセス許可画面を出します。
[追加]をおし、everyone を追加します。



6:［選択するオブジェクト名を入力してください］に、「everyone」と入力し、OK を押して[ユーザーまたはグループの選択］ダイアログボックスを閉じます。

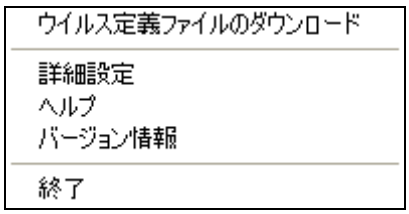


7:[セキュリティ］ページで、［グループ名またはユーザ名］から［Everyone］を選択し、［許可］の［フルコントロール］にチェックマークを付けます。


McAfeeのプロパティ
全般
共有
セキュリティ
カスタマイズ
グループ名またはユーザー名(G):
Administrators (WSH0294¥Administrators)
CREATOR OWNER
Everyone
nimi (WSH0294¥nimi)
追加(D)...
削除(R)
Everyone のアクセス許可(P)
許可
拒否
フル コントロール
変更
読み取りと実行
フォルダの内容の一覧表示
読み取り
書き込み
特殊なアクセス許可または詳細設定を表示するには、[詳細設定] をクリックしてください。
詳細設定(V)
OK
キャンセル
適用(A)

タスクトレーメニューについて

Local Updater を実行すると、タスクトレーに常駐します。タスクトレー内のアイコン をクリックすると、メニューが表示されます。



メニューから以下の事が可能です。

項目	内容
ウイルス定義ファイルのダウンロード	ウイルス定義ファイルを外部サーバから即時ダウンロードします。
詳細設定	本ソフトウェアの設定項目を表示します。
ヘルプ	本ソフトウェアのマニュアルを参照することができます。 ※取扱説明書をご覧頂くには PDF ファイルを開くことができるソフトウェアが必要です。
バージョン情報	本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
終了	本ソフトウェアを終了します。

Local Updater の動作について

Local Updater が動作すると、タスクトレー内のアイコン からメッセージが表示されます。

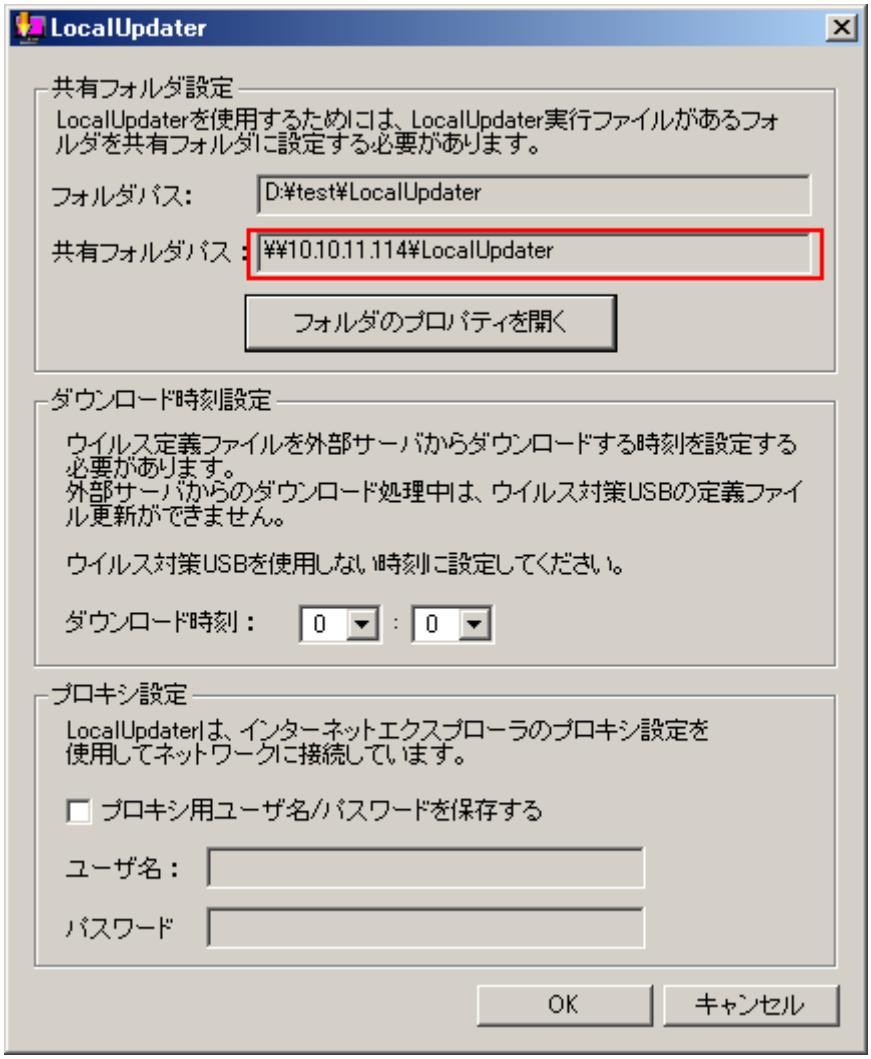
表示	内容
ウイルス定義ファイルを更新します...	ウイルス定義ファイルのダウンロード処理開始時に表示されます。
ウイルス定義ファイルは最新です。	社内サーバへダウンロードしている、ウイルス定義ファイルが最新の場合に表示されます。
ウイルス定義ファイルのアップデートができませんでした。	ウイルス定義ファイルのダウンロードが失敗した場合に表示されます
ウイルス定義ファイルのアップデートに成功しました。	ウイルス定義ファイルのダウンロードが成功した場合に表示されます。

SecurityUSB Manager でデバイス設定

対象デバイスへも Local Updater の設定をリトマス USB の設定画面からデバイスへ書き込む必要があります。

ご注意!	対象デバイスへ Local Updater の設定を書きこまないと、対象デバイスは Local Updater 経由でウイルス定義ファイルのダウンロードすることはできません。

[設定方法]
1: Local Updater で設定した[共有フォルダパス]をコピーしてください。



2:リトマス USB の「設定」画面の「定義ファイルダウンロード先設定」の欄で「LocalUpdater」を選択して頂き、
　1でコピーした共有パスを入力して　設定内容を保存してください
※リトマス USB についてはリトマス USB のマニュアルをご確認ください。

5 トラブルシューティングとQ&A

質問		回答	
Q1	スタンバイや休止状態に対応していますか？	A1	本ソフトウェアはスタンバイや休止状態、スリープ状態には対応しておりません
Q2	アンインストール処理を行なって、共有設定も元に戻りますか？	A2	戻りません。お客様の手で設定を戻してください。

6 サポート・メンテナンス・ライセンス

お問合せ窓口

ご連絡先		受付
サポートセンター※	TEL：0570-080-900	9:00～19:00（年中無休）

※内容を正確に把握するため、通話を録音させていただいております。個人情報に関する保護方針はホームページをご参照ください。ハギワラソリューションズ株式会社ホームページ：http://www.hagisol.co.jp

ナビダイヤルについて

弊社ではサービスサポートお問い合わせ窓口にナビダイヤルを採用しています。
全国の固定電話から1分間10円の通話料（発信者のご負担）でご利用いただける「全国統一番号」で、NTTコミュニケーションズ（株）が提供するサービスのひとつです。
ダイヤルQ2などの有料サービスではなく、ナビダイヤル通話料から弊社が利益を得るシステムではありません。
※携帯電話からは20秒10円の通話料でご利用いただけます。※PHS・一部のIP電話からはご利用いただけません。
※お待ちいただいている間も通話料がかかりますので、混雑時はしばらくたってからおかけ直しください。

◆掲載されている商品の仕様・外観、およびサービス内容等については、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
◆Microsoft Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
◆その他掲載されている会社名・商品名等は、一般に各社の商標又は登録商標です。なお、本文中には®および ™ マークは明記しておりません。
◆本ドキュメント内容は、2014 年 8 月 20 日時点のものです。今後、当該内容は予告なく変更される場合があります。

リトマス USB 対応 Local Updater
マニュアル
2014 年 8 月 20 日

©2014 HAGIWARA Solutions Co.,Ltd. All Rights Reserved